

医療法人豊田会 刈谷豊田総合病院

病院長名	吉田 憲生
所在地	〒448-0852 愛知県刈谷市住吉町 5 丁目 15 番地
交通案内	JR 東海道線・名鉄三河線で刈谷駅（いずれも名古屋駅より約 20 分）南口より徒歩 15 分／刈谷市の公共施設連絡バス（無料）

□ 病院の特徴

当院は 1962 年に設立され、刈谷市・高浜市並びに豊田自動織機などトヨタグループ 8 社によって運営されています。病床数 704 床、診療科 30 科目を有し、救急車搬入数は県下有数で年間 9,800 台を、手術件数は年間 7,300 件を超えます。

中心となる医療は、急性期医療、専門外来、がん・循環器疾患・脳血管疾患などに対する手術、外来がん化学療法、強度変調放射線治療 (IMRT) 専用装置「トモセラピー」などによる放射線治療、高度な検査などです。救命救急センター、災害拠点病院、愛知県がん診療拠点病院に指定されており、がんに対して腹腔鏡や胸腔鏡、内視鏡下手術支援ロボット「ダヴィンチ」による低侵襲手術を積極的に 行っています。緩和ケアについては外来から緩和ケア病棟まで十分に整備しています。

□ 研修プログラムの特徴（内科基幹プログラム）

【特徴】

1. スーパーローテ研修（1 年目）

専門研修 1 年目には 6 臓器を原則 2 カ月ずつスーパーローテ研修します。サブスペシャリティを絞り込めない方には、**臓器別の特徴を把握し、自分に合った専門領域を探る**にはとても良い期間になります。

専門研修開始時にすでにサブスペシャリティを決めている方には、2 年目以降にフィックスして主治医となったときに、各臓器研修での経験が活きてきます。他臓器の疾患を知らないままより、スーパーローテ時に**主治医としての経験があることは強み**です。

2. 救急外来医（1・2 年目）

専門研修 1 年目・2 年目は「救急外来医」として当番制で救急外来の日勤・夜勤にあたります。3 年目からは「内科当直医」を担当します。「救急外来医」として勤務する 2 年間を利用して、**内科直の先生と臓器別の初期対応をしっかりと学ぶ**ことができます。救急外来医もスーパーローテの延長線上にある有意義な期間です。

〔連携施設〕：豊橋市民病院、安城更生病院、岡崎市民病院、名古屋掖済会病院、トヨタ記念病院、半田市立半田病院、大同病院、豊橋医療センター、渥美病院、常滑市民病院、名古屋大学医学部附属病院、豊川市民病院、蒲郡市民病院、名古屋市立大学病院、刈谷豊田東病院、高浜豊田病院

[当院ホームページ](#)

<http://www.toyota-kai.or.jp/facility/learning/program.html>

(病院外観)



(内視鏡センター)



(心臓カテーテル治療)



□ メッセージ

内科基幹プログラム責任者 (副院長、内科統括部長、内視鏡センター長／濱島英司)

消化器内科の症例数が圧倒的に多いので、スーパーローテにおいても、消化器ローテ中は主治医業務に検査手技にと、ハードな日々になります。

しかし、**徹底して上級医と一緒に指導**しますので、心配は無用です。



患者さんのファーストタッチから 退院までを「診る」ことができます。もちろん、他のどの臓器科においても**上級医による手厚い指導が受けられる「バックアップ体制」**は充実しています。6 臓器スーパーローテの強みを存分に利用して内科専門医をめざしてください。

専攻医の皆さんの有意義な内科研修を保証します。迷わず、当院の基幹プログラムに応募してください。安心して研修していただけます。

□ 募集要項

・採用予定人数	5 人(定員は 10 名)
・給与／月額	55 万～59 万円程度 (他に諸手当、および賞与を支給する)
・当直回数／月	【専門研修 1.2 年目】 救急外来医: 2～3 回 【専門研修 3 年目】 内科当直: 2～3 回
・当直料／回	2.7 万～6.1 万円
・その他	宿舎あり 健康保険、厚生年金保険、雇用保険、労働者災害補償保険
・応募連絡先	担当者 臨床研修センター 中村 電話番号 0566-25-8345 E メール KTGh.kenshu@toyota-kai.or.jp